

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

冷凍、冷蔵設備高効率化更新による  
温室効果ガス排出削減事業

排出削減事業者名：長崎魚市株式会社

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	長崎魚市株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	長崎魚市株式会社 漁港冷凍冷蔵工場
排出削減事業共同実施者	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

冷凍、冷蔵設備の高効率化更新による温室効果ガス排出削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

既存の冷凍・冷蔵設備を高効率の機器、システムに更新することにより、二酸化炭素排出削減を図ることを目的とする。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存冷凍・冷蔵設備のシステムを変更し、機器更新、冷媒変更によりシステムの効率を上げ、消費電力を削減することにより二酸化炭素排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

排出削減事業計画 4 項に沿って記載（計画から変更あった場合は、実際の開始日に変更して記載）。

2011 年 4 月 1 日

#### 3.2 モニタリング対象期間

（本報告における実績報告期間）

2013 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 3 月 31 日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
022	冷凍・冷蔵設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、更新される冷凍・冷蔵設備とする。

## 5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画 7.1 項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
ELPJ-F	事業実施後の電力使用量（凍結系統）	kWh/年	2013年度：468,389 2014年度：511,982 2015年度：532,560 2016年度：605,990 2017年度：650,380 2018年度：602,840	電力計での計測	変更なし
ELPJ-C	事業実施後の電力使用量（冷蔵系統）	kWh/年	2013年度：406,298 2014年度：387,609 2015年度：396,528 2016年度：415,170 2017年度：427,950 2018年度：434,780	電力計での計測	変更なし
ε BL-F	事業実施前の冷凍・冷蔵設備のエネルギー消費効率（凍結系統）	—	0.99	メーカーデータから算定	
ε BL-C	事業実施前の冷凍・冷蔵設備のエネルギー消費効率（冷蔵系統）	—	1.19	メーカーデータから算定	
ε PJ-F	事業実施後の冷凍・冷蔵設備のエネルギー消費効率（凍結系統）	—	1.72	メーカーデータから算定	
ε PJ-C	事業実施後の冷凍・冷蔵設備のエネルギー消費効率（冷蔵系統）	—	1.87	メーカーデータから算定	

CFelectri city,t	電力の排出係数	kg-CO2/k Wh	2013 年度 : 0.570 2014 年度 : 0.554 2015 年度 : 0.531 2016 年度 : 0.516 2017 年度 : 0.496 2018 年度 : 0.463	J-クレジットデフォルト値	
---------------------	---------	----------------	--	---------------	--

## 6 排出削減量の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入すること。

注) 複数の方法論を採用している場合は、方法論ごとに排出削減量の計算結果を記入すること。

### 6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	874,687		0.570	498.6
2014 年度	899,591		0.554	498.4
2015 年度	929,088		0.531	493.3
2016 年度	1,021,160		0.516	526.9
2017 年度	1,078,330		0.496	534.9
2018 年度	1,037,620		0.463	480.4
単位	kWh		kg-CO2/kWh	t-CO2
	EM <sub>PJ</sub>			3,032.5

### 6.2 ベースライン排出量

ベースラインエネルギー使用量

	凍結系統, kWh	冷蔵系統, kWh	合計, kWh
2013 年度	813,766.7	638,468.3	1,452,235.0
2014 年度	889,504.1	609,099.9	1,498,603.9
2015 年度	925,255.8	623,115.4	1,548,371.2
2016 年度	1,052,831.1	652,410.0	1,705,241.1
2017 年度	1,129,953.1	672,492.9	1,802,446.0
2018 年度	1,047,358.4	683,225.7	1,730,584.1

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	1,452,235.0		0.570	827.8
2014 年度	1,498,603.9		0.554	830.2
2015 年度	1,548,371.2		0.531	822.2
2016 年度	1,705,241.1		0.516	879.9
2017 年度	1,802,446.0		0.496	894.0
2018 年度	1,730,584.1		0.463	801.3

単位	kWh		kg-CO2/kWh	t-CO2
	EM <sub>BL</sub>			5,055.4

### 6.3 リークージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0		0	0
2014 年度	0		0	0
2015 年度	0		0	0
2016 年度	0		0	0
2017 年度	0		0	0
2018 年度	0		0	0
	LE			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

冷凍系統と冷蔵系統の合計

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	5,055.4
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	3,032.5
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
<b>温室効果ガス排出削減量</b>	<b>ER</b>	<b>2,022</b>

## 8 省エネルギー量

注	原油換算 (kl)		
	ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
			1,002.4

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
	単位	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	t			